

【2020年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価

公表：2021年3月31日 職員数6名で会議

事業所名 放課後クラブ ルンバランバ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	内容により廊下など利用・室内運動によっては机等移動している。	室内外での活動を行う環境を整備
	2	職員の配置数は適切である	3	4		保育士等の有資格者への現児童指導員のスキルアップを行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	整理整頓に心がけている。	エントランス・トイレはバリアフリーを実施
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	毎日打ち合わせを密に行なっている。	子供の支援だけでなく、職員の業務に対してのPDCAが必要。年間研修スケジュールにて実施する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者の意見に耳を傾け、話しやすい感じられるように気をつけている。	定期的な家庭訪問面談を継続的に実施
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		毎年3月中に公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		今後第三者評価を実施していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	毎月のように資質向上のための研修を行なっている。	日々の活動の中で課題解決を行えるようにし、スキルある指導者より助言をもらう。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		定期的な家庭訪問面談を継続的に実施
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		定期的な家庭訪問面談を継続的に実施
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3		全職員が参加している
適切な支援	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		どの活動でもめあてを設けている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		どの活動でもめあてを設けている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		どの活動でもめあてを設けている

の 提 供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		どの活動でもめあてを設けている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	次の日のミーティングにて振り返りを行なっている。	どの活動でもめあてを設けている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		どの活動でもめあてを設けている
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		定期的な家庭訪問面談を継続的に実施
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	1		どの活動でもめあてを設けている
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		管理者等が参加している
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っていている	4	1	学校からのお便り掲示物にはよく目を通す様にしている。	保護者の橋渡しを受けている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		医療体制がないため受け入れていない
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		見学できない場合は電話等で情報収集している
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2		保護者の橋渡し、または相談支援事業者の依頼で情報提供している
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		積極的に研修を受けていく
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	放ディ職員や他校児童等に挨拶している。	今後連携できるようにしていく
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2		今後参加できるようにしていく
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		問題を解決できる職員が対応している。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		問題を解決できる職員が対応している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2		契約時に読み合わせをしている
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		定期的な家庭訪問面談を継続的に実施
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		今後できるようになるしていきたい

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		問題を解決できる職員が対応している。また、職員全体で迅速に話し合いをしていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		毎月月末にルンバ通信を発行し活動紹介をしている。
	35	個人情報に十分注意している	6	0		契約時に個人情報について承諾をいただいている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		定期的な家庭訪問面談を継続的に実施
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		今後連携できるようにしていく
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		作成したものは面談を通じて周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		毎月定期的に行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		年間研修計画で実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	送迎が終わって歩行前は飛び出しがないように玄関をロックしている。	契約時に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	保護者に食べていいおやつか聞いている。	契約時に必ず保護者に確認している。
非常時等の対応	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		年間研修スケジュールにて確認している。